

登録日 2019/3/26

レジメン名 BRE022

腫瘍名 乳がん

申請医師 乳腺外科

投与スケジュール

VNR+Pertuzumab+Tmab				21日毎 × PDまで				
				1コース		2コース		(Day)
				1	8	15	22	...
①	デキサート 生理食塩水	6.6 mg 50 mL	点滴 15分	↓	↓		↓	
②	生理食塩水 (前投薬用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓			↓	
③	パージェタ 生理食塩水	420 mg 250 mL	点滴 30分	↓			↓	
初回投与量: 840mg、2回目以降投与量: 420mg 初回60分投与、2回目以降30分に短縮可能								
④	生理食塩水 (パージェタ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓			↓	
⑤	トラスツズマブBS 蒸留水 生理食塩水	6 mg/kg 20~40 mL 250 mL	点滴 30分	↓			↓	
初回投与量: 8mg/kg、2回目以降投与量: 6mg/kg 初回90分投与、2回目以降30分に短縮可能								
⑥	生理食塩水 (トラスツズマブ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓			↓	
⑦	ロゼウス 生理食塩水	25 mg/m ² 50 mL	点滴 5分 (全開投与)	↓	↓		↓	
⑧	生理食塩水 (ロゼウス用フラッシュ)	250 mL	点滴 5分 (全開投与)	↓	↓		↓	

注意事項

【適応】 <ul style="list-style-type: none">手術不能または再発乳癌の一次治療パージェタ+トラスツズマブ+化学療法の治療歴がある進行、再発乳癌における三次治療以降(2022年12月27日)
【使用上の注意】 <ul style="list-style-type: none">パージェタおよびトラスツズマブは、病理結果にてHER2蛋白陽性者に限る。パージェタおよびトラスツズマブは、初回投与の認容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。トラスツズマブ初回投与時には、カロナールまたはNSAIDsなどの前投薬を検討する。パージェタおよびトラスツズマブ投与の際には、心エコーによる心機能を確認する。 モニタリングの頻度は、通常の患者では12週毎、無症候性心機能障害者では6~8週毎に行う。ロゼウスは、静脈炎防止のため、1~5分で全開投与する。
【投与延期してから再開する際の用量】 <ul style="list-style-type: none">パージェタ : 前回投与から6週未満 ⇒ 420mg、 前回投与から6週以上の場合 ⇒ 840mg(次回以降420mg)トラスツズマブ : 前回投与から6週未満 ⇒ 6mg/kg、 前回投与から6週以上の場合 ⇒ 8mg/kg(次回以降6mg/kg)
【減量・中止基準】 <ul style="list-style-type: none">適正使用ガイド参照

参考文献

1) Andersson M, et al, The Oncologist, 22, 1160-1168 (2017). 2) パージェタ添付文書 3) ハーセプチン添付文書 3) ロゼウス添付文書 4) パージェタ、ハーセプチン適正使用ガイド 5) Cancer Science, 113, 3169-3179 (2022).
